

科目名		授業形態	担当教員名	
生化学		講義	福岡 知也	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
医学に関連する生化学の基礎を理解する。				
授業の到達目標				
生体 (ヒト) の生体成分とその代謝を関係づける。				
授業計画				
回	内容			
1	イントロダクション, 細胞の構造と機能 (教科書1~20ページ)			
2	糖質の構造と機能 (教科書21~31ページ)			
3	脂質の分類と機能 (教科書31~39ページ)			
4	アミノ酸とタンパク質, 酵素のはたらき (教科書39~46ページ, 59~67ページ)			
5	核酸の構造と機能 (教科書46~51ページ)			
6	ビタミンの種類とはたらき (教科書52~56ページ)			
7	糖質の代謝① (教科書71~80ページ)			
8	糖質の代謝② (教科書81~83ページ)			
9	脂質の代謝 (教科書83~92ページ)			
10	アミノ酸とタンパク質の代謝 (教科書92~99ページ)			
11	三大栄養素, 水の代謝, 酸塩基平衡 (教科書100~114ページ)			
12	核酸の合成 (教科書117~128ページ)			
13	タンパク質の合成と遺伝 (教科書129~144ページ)			
14	ホルモン① (教科書147~153ページ)			
15	ホルモン② (教科書154~169ページ)			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	生体成分の役割とその基本的な代謝メカニズムを説明できる点を評価する。		
レポート				
小テスト	10%	毎回の小テストへの取り組みによって評価する。		
平常点	10%	授業態度, 発表, ディスカッションによって評価する。		
その他				
自由記載	授業への3分の2以上の出席を成績評価の前提とします。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
コンパクト生化学 (改訂第4版)	大久保岩男, 賀佐伸省		南江堂	
自由記載	要点を整理し, 補えるよう各回, レジュメおよび確認テストを配布します。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
改定第2版 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学	前野正夫, 磯川桂太郎		羊土社	
ヴォート基礎生化学 第5版	D. Voet, J. G. Voet, C. W. Pratt		東京化学同人	
自由記載	参考文献を購入する必要はありません。さらに理解を深めたい方におすすめします。			
備考				
生化学は医療を学ぶ上で基幹となる学問の一つです。楽しく学んでいきましょう。質問・提案など大歓迎です。				